

②ページの内容をご確認頂き、アンケートにお答え下さい。

世帯配布のアンケートは、各世帯1部の送付としております。  
 さらにご協力頂ける場合は、お手数ですが**アンケート票をお近くの市町村役場などにも設置**しておりますので、そちらをご利用頂くか、**インターネットからの回答も可能**となっております。

●国道13号（対象区間）における利用状況や課題、今後の道路整備へのご意見等をお答え下さい。

■問1 国道13号（対象区間）をどのぐらいの頻度で利用しますか？ ※1つ選ぶ

1. 毎日	4. ほとんど利用しない
2. 週に数回程度	5. 利用したことがない
3. 月に数回程度	

■問2 国道13号（対象区間）の主な利用目的は何ですか？ ※複数回答可

1. 通勤・通学	4. 業務(営業・運送等)
2. 通院	5. 観光・レジャー
3. 家事・買物	6. その他

■問3-1 国道13号（対象区間）で困ったことや問題点は何か？ ※複数回答可

1. 自然災害や交通事故による通行止めが多い
2. 目的地までの時間がかかる（冬期には速度が低下）
3. 急坂が多く道路幅も狭いため冬期には特に走りにくい
4. 除排雪等による車線規制が多い
5. 交通事故のリスクが高い
6. その他 ※回答欄の〔 〕内にご記入下さい

■問3-2 「問3-1」にお答え頂いた中で、場所や時期なども含め具体的な実体験を教えてください。

回答欄にご自由にお書き下さい。

■問4 当該地域（対象区間）には、どのような機能を持つ道路が求められますか？ ※複数回答可

1. 冬期の影響を受けにくいこと
2. 最短時間で結ぶ物流経路を確保できること
3. 自然災害や交通事故で通行止めになりにくいこと
4. 救急病院に早く行けること
5. 観光交流を促進すること
6. 交通事故が少なく安全に走行できること
7. その他 ※回答欄の〔 〕内にご記入下さい

■問5 これまでの質問以外に、ご意見がありましたらお聴かせ下さい。

回答欄にご自由にお書き下さい。

- ◆**返信方法** ※下記のいずれかで返信ください。  
 ①お近くの**郵便ポスト**に投函してください。  
 ②国道事務所、市町村役場、道の駅（尾花沢・おがち・十文字）等の**回収ボックス**に投函してください。  
 ◆**締め切り** 平成26年2月14日までをお願いします。

ご協力ありがとうございました。

アンケートに関するお問い合わせ先

【秋田県】国土交通省 湯沢河川国道事務所 調査第二課 担当：渡辺（わたなべ）、加藤（かとう） TEL：0183-73-5559 FAX：0183-72-2488  
 【山形県】国土交通省 山形河川国道事務所 調査第二課 担当：橋本（はしもと）、杉山（すぎやま） TEL：023-688-8940 FAX：023-689-1081

東北中央自動車道

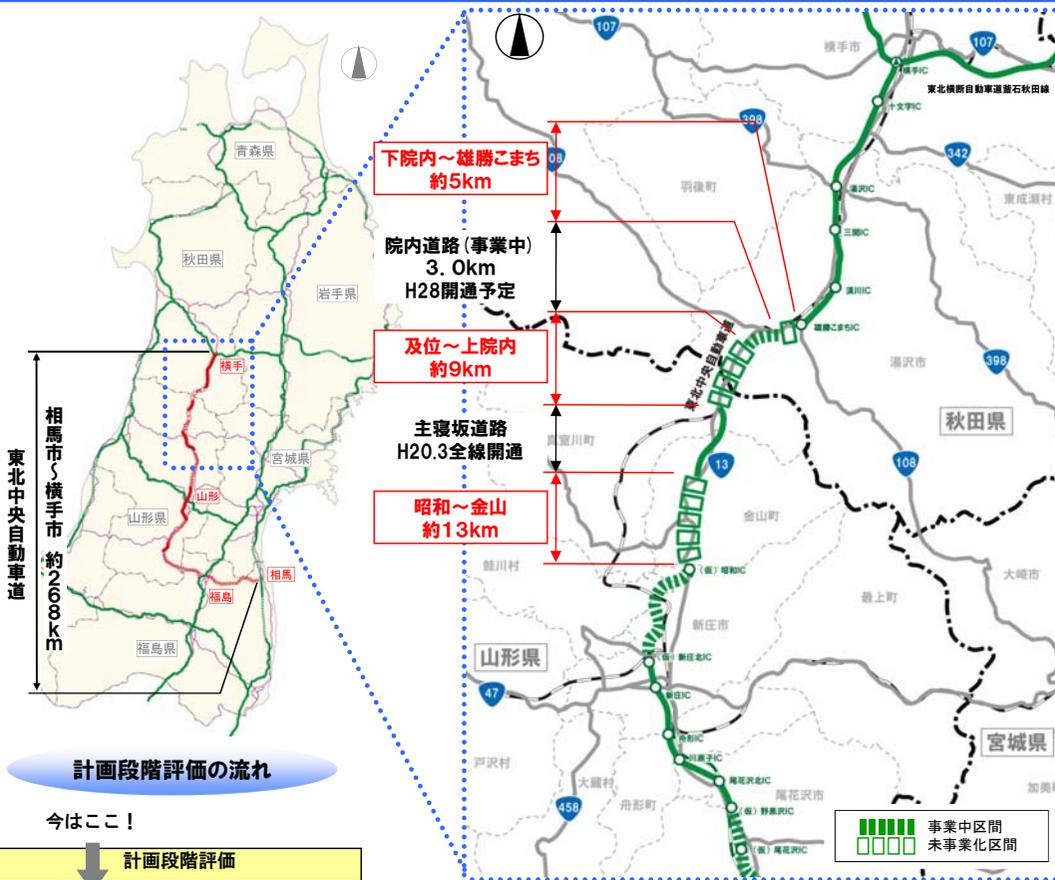
（昭和～金山、及位～上院内、下院内～雄勝こまち）における  
 計画検討に関するアンケート【第1回】

参考資料1

東北中央自動車道は、福島県相馬市を起点とし、福島県福島市や山形県山形市を経由して秋田県横手市に至る延長約268kmの高規格幹線道路です。

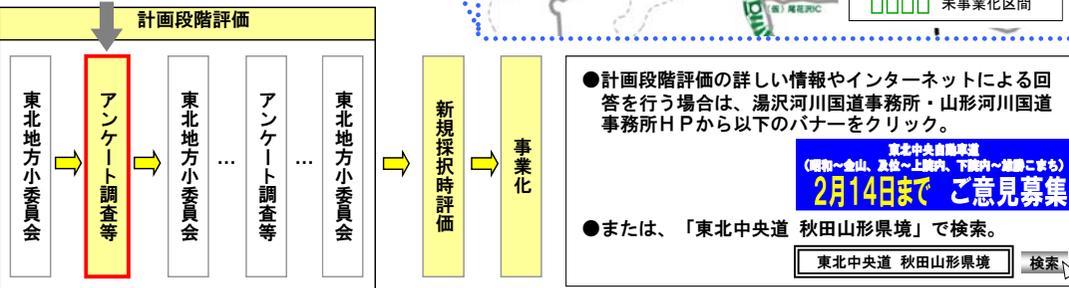
本調査は、未事業化区間である昭和～金山、及位～上院内、下院内～雄勝こまち間（以下、対象区間という）の道路整備の計画検討にあたり、アンケート調査を行うものです。

第1回アンケート調査（今回）では、地域の皆様が日頃感じている道路交通や地域の課題等についてご意見をお聴きしたく、ご協力をお願い致します。



計画段階評価の流れ

今はここ！



国土交通省 湯沢河川国道事務所 山形河川国道事務所  
 秋田県 山形県  
 湯沢市 新庄市 金山町 真室川町

# 国道13号(対象区間)の状況

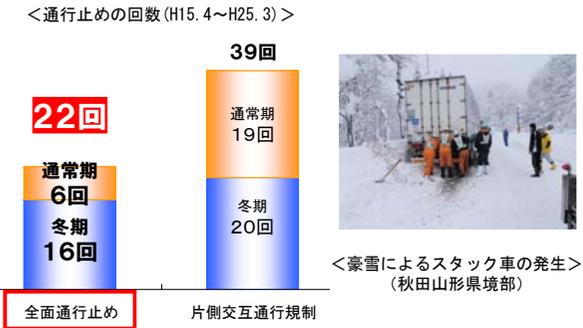


## 国道13号(対象区間)における課題

### 1 通行規制の状況

●過去10年間で、自然災害や交通事故による通行止めが22回発生しています。(通行止めの場合は、近くに迂回路はありません。)

⇒そのため、輸送の遅れや運転の負担の増大などが考えられます。



### 3 都市間の移動時間

●秋田市～山形市間は、距離がほぼ同じ東北縦貫道のIC間に比べ、多くの時間がかかっています。

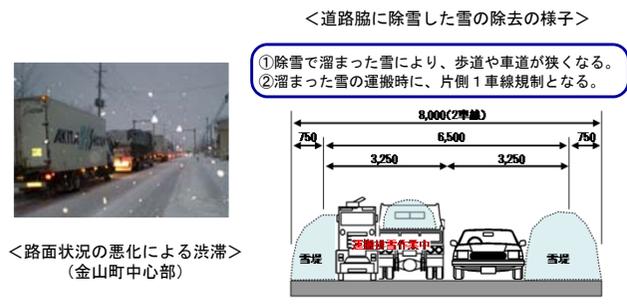
⇒そのため、周遊観光プランで移動時間の課題などが多いと考えられます。



### 2 冬期の道路状況

●豪雪地帯のため、冬期の積雪により道幅が狭くなったり、除雪のために通行規制となる場所では、ノロノロ運転が多くなっています。

⇒そのため、冬期の救急車の搬送などに時間を要していると考えられます。



### 4 事故の発生状況

●事故の発生割合が高い箇所が多数存在し、交差点での追突やカーブ等での事故が多く、重大事故の割合も高くなっています。

⇒そのため、道路利用者や沿線住民の安全性が低下していると考えられます。

